

令和元年度第3回新宿区東京2020大会区民協議会 会議概要

<開催日>

令和2年1月27日（月）

<場所>

新宿区役所本庁舎5階 大会議室

<出席者>

新宿区東京2020大会区民協議会委員（24名）

村岡功、鈴木章生、渡邊哲意、山田和男、田中稔、武山昭英、馬場章夫、有村尚樹、青山豊、丸山由美子、今井康之、小林優子、小川定弘、太田正一、的場美規子、李承珉、山本芳裕、吉住はるお、鈴木ひろみ、吉住健一、寺田好孝、鈴木昭利、酒井敏男、三井梨紗子

事務局（2名）

加賀美東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部長、浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長

<開会>

【村岡座長】

皆様、ご多用のところ、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

ただいまより、令和元年度第3回新宿区東京2020大会区民協議会を開会いたします。

それでは、次第に沿って順次進行いたします。

はじめに、次第の1、大会250日前記念イベントについてです。

令和元年12月1日に落合第二中学校及び落合第三小学校にて、新宿区主催の大会250日前記念イベントが開催されました。このイベントは、前回のこの協議会で報告のあった各部会の意見を踏まえて実施されました。委員の皆様におかれましても、出展や参加など、さまざまな形で協力していただきました。

後ほど委員の皆様から意見、あるいは感想などをいただきたいと思いますが、まずは、実施内容を振り返りたいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

資料1「大会250日前記念イベント実績報告」に沿って、説明させていただきます。

1ページをご覧ください。開催概要です。

「新宿区主催 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた250日前記念イベント ～新宿から世界へ～ ひろがる未来に 夢・チャレンジ！」と題して、令和元年12月1日(日)10時から15時、落合第二中学校と落合第三小学校の2会場で実施しました。来場者数は、3,100名という結果でした。

2ページをお開きください。こちらは、これまでの気運醸成イベントの実施会場を示した図になっています。

3ページ以降に、当日の実施内容を紹介しています。

まず、3ページは、スポーツの体験に関する内容です。

より多くの子どもたちが体験できるよう、オリンピック等アスリートによるスポーツ教室の内容を充実し、柔道教室や体操教室、サッカーボールを使った遊び、走り方教室といったものを実施しました。

続いて、4ページをご覧ください。

こちらは、誰でも参加できる体験ブースとして、染物の体験や聖火リレーのトーチと記念撮影ができるブース、シナプソロジー体験、似顔絵缶バッジを作ろうなどを実施しました。

5ページをお開きください。

パラリンピック競技を身近に触れていただく機会として、シッティングバレーや5人制サッカー、ボッチャの体験等のブースを設けました。落合第二中学校の体育館では、NHKに協力していただき、「アニメパラ」というアニメを放送しました。そのほか、パラ陸上の義肢体験も実施しました。

それから、新宿の文化、また世界の文化に触れる機会として、東京染小紋の展示や、目白大学による「地元を知ろう」という落合地域の魅力を発信するブースを展開しました。そのほか、桜美林大学による、民族衣装や外国の遊びといった異文化交流の体験ブースを設けました。

6ページをご覧ください。

来場者に一日を通して楽しんでもらうために、スタンプラリーやステージイベント、それから今回初めての試みとして、大抽選会を実施しました。これらの取組みにより、最後まで多くの方に残っていただけたと思います。また、最後には、東京五輪音頭をみんなで踊るという取組みも実施しました。

7ページをご覧ください。イベントの広報についてです。

従前どおり、チラシ、広報、インターネット等でのPRを行ったほか、今回初めての試みとして、会場付近のアイテラスという商業施設におけるチラシの配架や、イベントの前日には、中学生ボランティアに落合南長崎の駅前でのPR、チラシの配布というものを行いました。

続いて、8ページをご覧ください。

今回のイベントに参加していただいたボランティアは、100名でした。新宿2020サポーターのほか、落合中学校、落合第二中学校の生徒、それから目白大学の学生、合わせて100名の方に参加していただきました。

そのほか、会場内に新宿2020サポーターのコーナーということでブースを出展し、新宿2020サポーターのPRと登録受け付け、また、新宿社会福祉協議会とも連携のうえ、地域のボランティア活動の紹介等を行いました。参考として、新宿2020サポーターの登録者の推移を掲載しています。

最後に、9ページをお開きください。

今回も多くの方の団体の皆様に出展していただきました。全ては紹介しきれず恐縮ですが、ページ下部に出展団体の写真を掲載しています。

それから、当日は大変お忙しい中、委員の皆様にもこのイベント参加していただき、ありがとうございました。当日参加された委員の皆様にも、アンケートにお答えいただきました。

結果としては、概ね「良かった」、「非常に良かった」という回答をいただいておりますが、ここで、いただいた意見をいくつか紹介させていただきます。

まず、今回は抽選会やスタンプラリーといった取組みにより、会場全てを回っていただけたら、最後まで参加していただけたらという効果が見えた一方で、スタンプラリーのゴールである景品の交換所のオペレーションがスムーズにいかなかったという指摘をいただいております。この点は、次回以降の参考にしたいと思います。

また、開催日が各地域の他の行事と重なり、競合してしまったという意見もありました。12月1日という開催日でしたが、どうしてもイベントシーズンということで、その調整が難しかったところでした。企画段階では、この1週間前に開催をする予定もありましたが、企画を進めている中で、会場と予定していた場所に工事が入り、急遽日程と会場を移したという経緯もあり、会場及び日程の設定の難しさを感じました。この点についても、今後の参考にしていきたいと思っております。

それから、ボランティアについて、新宿2020サポーターの活動が目立たなかったという意見をいただきました。当日、中学生ボランティアははっぴ、その他のボランティアについてはビブスを着用していただきましたが、はっぴは目立つ一方で、ビブスはスポーツ教室の参加者と見分けが付きづらかったということがあったかと思っております。このあたりも今後の検討に活かしたいと思います。

その他、イベント全般について、落合第二中学校の会場に東京2020パートナー企業のコーナーが多く、そちらの方が盛り上がっていた、また、そもそも2校に分けるべきではなかったという意見をいただきました。それから、参加したいプログラムのたびに落合第二中学校と落合第三小学校の両会場を往復することになってしまった、また、もう少し両会場の間の案内があると良かったといった意見もいただきました。

今回、落合第二中学校と落合第三小学校の2会場で開催しましたが、2会場運営のメリットとデメリットがあったと感じています。2会場とした主な理由は、前回の反省を踏まえ、小学校側と中学校側と2つの体育館があると、雨天の時に規模を縮小しながらも全てのコンテンツを実施できると考えたことにあります。しかしながら、その2会場の中の案内については、もう少し工夫することができたのでは、と考えています。

説明は以上です。

【村岡座長】

ありがとうございました。大会250日前記念イベントについて、説明していただきました。

概ね好評だったようですが、いただいた意見については、今後活かしていかなければならないと思っております。

それでは、ここで、全体で意見交換の時間を持ちたいと思います。特に、このイベントに参加した委員の方々から意見等をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

【三井特別アドバイザー】

大会1000日前記念イベントから継続して参加させていただいていましたが、今回の大会250日前記念イベントが最も良かったと思います。参加してすごく楽しく、子どもたちやボランティアの方々との距離が近かったという点では、まさにオリンピックに近い雰囲気イベントだったと感じました。前回の時にゲストを誘導するスタッフがなくて困ったという話をさせていただいたのですが、今回は学生を含むボランティアの方々を通じてゲストを誘導していただき、大変ありがたかったです。

しかし、学生ボランティアの中には、居場所が少なかったのか、どこにいたら良いかわからないと見受けられる方が若干いたので、今後に向けてそういった情報共有が大切ではないかと思いました。

また、最後の五輪音頭の時に、参加者がすごく多かったことや、見本となる方々が少なかったということもあると思いますが、踊りながら振付が正しいのかどうか、多くの方が不安そうな雰囲気で始まったことがもったいなかったと思いました。

【村岡座長】

ありがとうございます。

それでは、先に各部長からコメントをいただいて、その後に各委員の方々から意見を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。

【渡邊部長】

今回の大会250日前記念イベントですが、最初の1000日前から、777日前、500日前と段階を踏み、このイベントをどのようなものにしたら良いか、この協議会及び部会を通じて、色々と検討してきました。

前回の大会500日前記念イベントの時から、この協議会委員の皆様の団体においても、参加して盛り上げようという流れができていたと思います。また、前回出た雨天時の対応という反省点についても、今回改善できたと思います。

それから、今回のイベントでは、東京2020大会普及啓発部会の中で出た色々な意見の中から、聖火リレーのトーチ展示など、可能な限り形にできたものと思います。

新宿区と関係団体とが連携して、取り組むことができていると思いますので、この流れを今後、大会期間中のライブサイトイベントなどにつなげていければと思います。

【村岡座長】

ありがとうございました。

【鈴木副座長】

今回、これまでになくボランティアの活動がとても目立ったと思いました。まず、新宿2020サポーター以外に、地元の中学生の活躍が非常に心強いものを感じました。また、早稲田大学、桜美林大学、宝塚大学、そして目白大学の学生にも今回非常によく活躍していただいたと思い

ます。

しかし、今回3,000人を超える参加者の中で、前回の反省を踏まえて、誰がボランティアなのか分かるように、中学生にははっぴ、その他のボランティアにはビブスを来てもらったのですが、はっぴはよく目立つ一方、ビブスはスポーツ教室の参加者と見分けがつけづらかったという点で、曖昧さが残ったように感じました。せっかくボランティアが活躍しているので、その活動を見てわかりやすくすることが今後の課題ではないかと思いました。

また、ボランティア部会の意見として出た、新宿2020サポーターの活動をPRするコーナーを設けた点はとても良かったと思います。

それから、活動中のボランティアの居場所について、小学校の方に用意してあったようですが、もう少し身近な、自分が担当している場所のすぐ近くに休憩スペースが設けられるとさらに良かったと思いました。

新宿2020サポーターはまださまざまな課題がありますが、3月に行われる新宿パレード2020に参加していただく方も多いと思いますので、そこに今回の気づき、あるいは反省を踏まえて、活動できるように工夫していただければと思います。

【村岡座長】

ありがとうございました。

それでは、他の委員の方々から、何かご意見ございましたらお願いします。

【委員】

今回は、天候に恵まれた点も素晴らしく、本当に集大成に相応しい記念イベントになったと思います。

アンケート結果では色々な意見があったようですが、今回の2会場は、子どもを連れていても移動がしやすく、わかりやすかったと感じました。どちらの会場も、本当に楽しいブースがたくさんあり、時間があっという間に経ってしまって、回り切れなかったほどです。

また、前回のイベントの反省点がとてもよく活かされていたと思います。例えば、土足禁止の場所には靴カバーが用意されていて、靴の脱ぎ履きもなく、出入りがすごくスムーズで、子ども連れには大変助かりました。また、何台もキッチンカーがあり、今回は飲食スペースも十分に確保されていたので、子ども連れの方の休憩スペースにもなっていてとても良かったと思います。

それから、最後までイベントを楽しめるような企画がたくさんあり、全体的には大成功だったと思います。

大会1000日前記念イベントから、数多くのアスリートの方々と直に接して、指導していただけるという機会を新宿区でたくさん設けていただけたことがとてもうれしく、また東京2020大会以降もこのようなイベントをたくさん開いていただけることを願っています。

【村岡座長】

ありがとうございました。

【委員】

新宿区障害者福祉協会は、ダイバーシティ・ウォールパズルアートのブースを出展いたしました。

当日は晴れたこともあり、先着350名の方に記念バッジを用意していたところ、400名強の方々に参加していただき、前回余った分と合わせてバッジをお渡ししました。外国の方であったり、障害をお持ちの方も、多数参加してくれていたと実感しています。

今回のイベントのテーマは「未来への継承」ということで、「心のバトンリレー」というテーマで作品を完成させました。閉会后、それを学校の校門のところに飾ったことで、作品を描いた方々が自分の描いた作品を見つけて、喜んでいる様子が見受けられました。

また、今回はボランティアの方に、当団体のブースを周知していただきました。スポーツ教室が校庭で行われたこともあって、他のブースや企画を身近に見ることもできて、出展した私たち自身も楽しむことができたイベントとなりました。

【村岡座長】

ありがとうございました。

詳細については、次第の2で議論させていただきますが、今後、区の大きなイベントとして新宿パレード2020などが実施されます。今回いただいた意見、そして多少改善点もあるようですので、それを区の方でよく検討していただき、そういったイベントをより良いものにしていただければと思います。

それでは、次第の2、新宿パレード2020についてです。

この新宿パレード2020は、新宿パレード2020実行委員会と区が、東京2020大会の気運醸成を目的として、開催地である新宿の魅力を広く発信する、今年度最後の大きなイベントです。

この協議会においても、各部会で議論をしていただきましたが、その中で出た意見等も踏まえた形で、企画を進めていきたいと思っています。

本件についても、初めに区からイベントの詳細を説明していただいたうえで、委員の皆様から意見を伺いたいと思います。

それでは、説明をお願いいたします。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

こちらのイベントは、東京2020大会の公認プログラムの認証を取得して実施する事業です。

イベントの概要ですが、名称は「新宿パレード2020」、開催日は令和2年3月29日の日曜日です。地域のにぎわいの創出と日本文化の発信、それから東京2020大会の気運醸成のイベントとして、開催地である新宿の魅力を広く発信することを目的として、新宿通りにて交通規制をかけて実施するという形になります。

続いて、パレードの概要です。まず、その一部のフェスティバルパレードについて説明します。

フェスティバルパレードの概要としては、先頭に横断幕があり、その後バトントワリング、オープンカー、著名な方やオリンピック、パラリンピアン等のアスリートの方々に搭乗をして

いただくオープンバス、それから、吹奏楽団や阿波踊りが続いてパレードしていくという内容です。

フェスティバルパレードに続いて、区内のおみこし11基によるパレードが続きます。区内10社の神社から、それぞれ1基ずつおみこしを出していただくという予定です。そして、一番最後に、毎年の新宿区障害者福祉センターのお祭りで担がれている福祉みこしとなります。こちらについては、障害をお持ちの方も一緒に入って、参加していただきます。

続いて、パレードのタイムスケジュールです。9時から交通規制をかけ、順次パレードを行います。同日に行われる交通安全パレードに続いて、先ほど説明いたしましたフェスティバルパレード、その後おみこしのパレードが続いていきます。パレードの終了は、新宿アルタ前にて14時15分頃の予定になっています。

このエリアは、当日の17時まで交通規制をかけますので、おみこしのパレードが終わった後のエリアを活用して、ステージイベント、ステージパフォーマンスを合わせて実施する予定です。小学生や中学生による演奏、大学によるチアリーディング等の演技、それから四谷太鼓や鉄砲組百人隊等の地域の文化というものを発信していきたいと考えています。

また、世界堂前のエリアでは、こうしたパフォーマンスのほか、BMXやボッチャ、テコンドー、車いすバスケット等のスポーツ体験ができるコーナーを実施したいと考えています。

それから、モア4番街のエリアでは、テントやブースを設置し、運営本部、警察、消防等のブース、救護所、それから東京2020パートナー企業のブースを展開する方向で、調整しているところです。

続いて、オリジナルの手拭いについてです。今回、おみこしの担ぎ手やステージ出演といったさまざまな形でイベントに参加していただく皆様に、オリジナルの手拭いを制作して、提供することになっています。このデザインは、東京2020大会のエンブレムをデザインされた野老朝雄さんに、新宿独自のデザインということで依頼しています。

それから、このイベントにおいても、新宿2020サポーターに参加していただく予定であり、2月下旬頃から募集を始めていきます。

最後に、今後のスケジュールです。2月5日に実行委員会を行い、その後、ポスターやプレスリリース、広報等でPRをしていく予定です。

イベントの説明は以上です。

【村岡座長】

ありがとうございました。

このパレードに実際に参加される方は、かなり多くいらっしゃると思います。また、それを見に来られる方が非常に多いのではないかと思います。どの程度を想定されているか、可能な範囲で教えてください。

また、警察を中心として交通整理が必須だと思いますが、区として、ボランティアの活用を含めて、どのようなことを考えているか、教えてください。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

今回のイベントが、新宿駅前を使い、新宿から大会に向けた気運を醸成していく、また新宿の魅力を発信していくということで、大きなイベントとして実施したいと思っています。出演するゲストも調整中で、まだ申し上げられる状態ではありませんが、今後広報していく段階では、その点もアピールしていきたいと考えています。

当日、どれぐらいの人出になるかはわかりませんが、見込みで20万人程度の観覧者にお越しいただくという想定のもと、警察等と協議を行っています。引き続き、安全にイベントが実施できるように、イベント会社、警備会社とともに、警備計画等の調整を進めていきます。

【村岡座長】

ありがとうございました。

それでは、ここで、意見交換の時間を設けたいと思います。委員の皆様から、何か意見や質問等をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

5ページに記載がされている、外国人留学生の参加について、こちらは2月から一般募集を始めるといっていますが、想定50名が集まらなかった場合はどうされるのでしょうか。東京青年会議所新宿区委員会としても、外国人留学生に対してアプローチをかけており、ボランティアをやりたい方が比較的多いと把握しています。周知すれば50名集めることもできるので、ご留意いただければと思います。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

ありがとうございます。

外国人留学生については現在、区内の日本語学校や専門学校等に声掛けをさせていただいています。10基のおみこしに凡そ5名ずつ体験していただく想定で、50名を目標にしているところです。

こちらについて、もし今後必要があれば、また相談させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

【村岡座長】

ありがとうございました。

なるべく多くの外国人留学生の方が参加できる仕組みを考えていただければと思います。

新宿の魅力を広く発信する大きなイベントであるため、委員の皆様におかれましても、ぜひ来場していただき、意見や感想等をまた次回の協議会などで聞かせていただければと思います。

それでは、続いて、次第の3、大会気運の醸成に関する新宿区の取組みについてです。

今回が今年度最後の協議会となりますので、前回の協議会以降に区で行った取組みを振り返るとともに、今後実施を予定している事業についても説明していただきたいと思います。

それでは、よろしく願いいたします。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

それでは、資料2に沿って説明いたします。東京2020大会の気運醸成に関する区の取組みに

ついてです。

1ページをご覧ください。

前回の協議会以降の区取組みについて、まず、9月、10月に開催したラグビーワールドカップ2019のパブリックビューイングのイベントです。

会場としては、歌舞伎町シネシティ広場で2日間、それから伊勢丹新宿本店の屋上を借用して延べ12日間実施しました。特に日本戦を中心に、非常に多くの方が来場され、観覧していただけただけのイベントとなりました。

東京2020大会本番についても、パブリックビューイングのイベントを予定していますので、それに向けて、区としても非常に参考になりました。

続いて、2ページをご覧ください。

「新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成」についてです。第1回分については前回の協議会で紹介しましたが、第2回の募集についても終了し、本年度全体では、22事業に交付決定をさせていただきました。

一部ですが、うち3事業ほど写真を掲載のうえ、紹介しています。

左の写真は、テコンドーとパラテコンドーの体験イベントです。日本のかなり有力な選手にお越しいただき、子どもたちが競技を体験できるというものでした。

真ん中の写真は、信濃町で行われた1964年の東京オリンピックの関連資料の展示会です。

右の写真は、区内の銭湯間を、提灯を持ってリレーでつなぎながらウォーキングするというイベントです。十数日間に分けて提灯リレーが行われ、それに合わせて東京五輪音頭2020の振付の講習会やパラリンピックの競技体験をあわせて実施するという内容であり、ウォーキングについては毎回定員に達するほど多くの方に参加していただいているという状況です。

3ページをお開きください。

新宿区と友好提携都市である伊那市との交流事業として、本年度は11月3日～4日の日程で、新宿区の小学生36名が伊那に一泊で行き、伊那市の小学生と一緒にボッチャ等の体験交流を行ったものです。

1日目に、新宿区の小学生と伊那市の小学生と一緒にボッチャの体験や、東京五輪音頭を楽しみ、2日目は、伊那市の文化体験として、現地で草木染め等の体験を行いました。

4ページをご覧ください。

「陸上競技シルエットシールの設置」の事業です。区立の小学校、中学校、特別支援学校40校の体育館や校舎の壁面等に、陸上競技の記録、またアスリートのすごさがわかるシルエットシールを設置しました。既に設置は完了しておりますが、写真で紹介しているとおり、リレーのバトンの受け渡しをこま送りで見られるものや、走り高跳び、棒高跳び等の記録、それから走り幅跳びの記録が実際に体験できるようなシルエットとなっています。

5ページをご覧ください。

「『その応援から感動がはじまる！チャレンジ！2020』絵画コンクール」と題して、夏休みを募集期間として、区内在住・在学の小学校、中学校、特別支援学校の児童・生徒から、2020

年に自分が頑張りたいこと、もしくは一生懸命応援したいことというテーマで募集した絵画コンクールです。

1,206作品の応募があり、その中から先日12月1日の大会250日前記念イベントにて優秀作品を表彰させていただきました。

また、その作品を活用して日めくりカレンダーを制作し、区内の小中学生に配布しました。令和2年1月1日からパラリンピックが終わる9月6日までの250日分の日めくりカレンダーとなっています。

それから、今回の応募作品から320作品を選び、配電地上機器に掲出をしていく予定です。現在のところ、新宿駅東口の新宿M-SQUARE付近に1基先行して施工し、残りの319基については、概ね2月中に施工する予定です。場所は、区内の新宿駅や四ツ谷駅、高田馬場駅等の駅周辺のほか、マラソンコースの沿道、聖火リレーの沿道といった場所を中心に、設置していく予定です。

続いて、6ページから9ページには、各特別出張所で独自に行っている気運醸成事業をまとめています。

このうち6ページの四谷地区で行われる「国立競技場をもっと知って東京2020大会を楽しもう！」は、2月1日に実施予定のイベントです。第一部は、講演会とシンポジウムであり、三井特別アドバイザーにも出演していただきます。また、第二部は、名曲の演奏会を実施します。

お時間のある方は、ぜひ観覧にお越しいただければと思います。よろしく願いいたします。

それから、8ページに記載した戸塚特別出張所で行われる「戸塚ふれあいボッチャ大会」、それから落合第二地区で行われる「東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！in落合さくらまつり」、こちらのイベントについては、これから行われるイベントですので、お近くの方はぜひご参加いただければと思います。

10ページをご覧ください。

令和2年度に実施を予定している主な事業です。今年度から継続して実施するものについては説明を割愛させていただきますが、まず「1. コミュニティライブサイトイベント」として、東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の競技中継等のイベントを計画しています。

次に、「2. メモリアルコレクション展」として、1964年から2020年の夏季大会で使用された歴代の聖火リレーのトーチを展示するイベントを開催していきたいと考えています。また、東京2020オリンピックの聖火リレーは新宿区が最終日となりますので、この出発式のイベント、またパラリンピックについては、東京都のルートの中最初となる予定ですので、こうした聖火リレーを盛り上げていくイベントを実施していきたいと考えています。

それから、「4. 銘板、マスコット像の設置」です。組織委員会の承認を得たうえでということにはなりますが、例えば、ここをマラソンが通過した、聖火が通過したといったスポットに銘板を設置するものです。このように後々残っていくもの、思い出として残っていくものについても、設置を検討していきたいと考えています。

最後に、「8. 大会100日前記念イベント」です。実際は4月15日に東京2020大会の100日前

を迎えるわけですが、その直前ということで、4月4日に新宿未来創造財団の主催で記念イベントを実施していきたいと考えています。

説明は以上です。

【村岡座長】

ありがとうございました。

それでは、委員の方から、何か意見や質問等がありましたら、お願いいたします。

【委員】

9ページに記載のある柏木地区の新宿かしわまつりについて補足します。今回、東京2020大会の気運醸成ということで、競泳メダリストの星奈津美さんをゲストに迎えてトークショーを行いました。これを一番のメインとしましたが、実行委員としては、例年、高齢者や子どもの参加が多いので、星奈津美さんに興味を持ってもらえるのか、少し心配していましたが、当日、トークショーの会場は満員で、外にあふれるほど集まっていたでき、大変良かったと思っています。

星奈津美さんは、そういった高齢者や子どもを中心とする参加者の質問に対しても、非常にうまく答えていただいたほか、実際にメダルを見せていただき、また写真も自由に撮らせていただくなど、とてもおおらかに対応していただき、さすがメダリストという感想を持ちました。

それから、宝塚大学のメディア芸術学部の先生、また生徒の皆様に協力していただき、地域センター1階の壁全面に、今までのオリンピックの歴史がわかるような写真を展示し、最後にトリックアートの部屋まで続いているというような仕組みをつくりました。これは、今でも地域センターに残っていますので、関心がありましたらぜひ見に来ていただければと思います。

最後に、大会公式グッズの抽選会があり、大変に盛り上がりました。結果として、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成のイベントを行って非常に良かったと思いました。

【村岡座長】

ありがとうございました。

【委員】

質問ですが、大会100日前に向けた記念イベントが4月4日に予定されていますが、これは令和元年7月にコズミックセンターで開催された大会1年前記念イベントと同じような内容になるでしょうか。

【委員】

新宿未来創造財団より、大会100日前に向けた記念イベントの補足をさせていただきます。大会1年前記念イベントとは少し異なり、毎年4月の第1土曜日に開催しているレガスマつりというイベントを、本年は大会100日前と銘打たせていただき実施するものです。なお、レガスマつりは、区内で活動するスポーツや生涯学習の団体の活動や、新宿未来創造財団のさまざまな活動について周知させていただくイベントです。

今回の内容としては、ボッチャ等のスポーツ体験に加えて、トップアスリートとの交流がで

きるようなイベントとして調整しています。こちらについては、詳細がまとまり次第、財団の広報紙「Oh!レガス」にて周知させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【村岡座長】

ありがとうございました。

それでは、各部長より、一言ずつお願いしたいと思います。

【渡邊部長】

本年度も、東京2020大会の気運醸成の取組みということで、各団体の皆様に色々と協力をいただきました。区にも調整していただきながら、地域の方々とともに、さまざまな活動ができたと思っています。

これも、皆様方から意見を得ながら、どのような形で実現するかを検討したうえで進めてきたものです。今後まだイベントなどの予定がありますので、引き続き各団体の皆様に協力をお願いしたいと思います。

【村岡座長】

ありがとうございます。

【鈴木副座長】

ボランティアについて、三点ほど発言させてください。

一点目です。これまで東京2020大会の気運醸成のさまざまなイベントで、新宿2020サポーターを募集して、現在300名ほどの登録者がいると思います。しかし、大会250日前記念イベントに参加した新宿2020サポーターは、学生を除いて23名ほどだったと思います。登録者を増やすのはもちろんですが、今後はイベントへの参加者を増やしていくために、魅力的なボランティア活動というものをどうPRしていくかが重要ではないかと考えています。

二点目は、ボランティア活動というと、何をすれば良いかという受け身の対応が出てきてまいがちですが、それをできるだけ参画しながらやっていくということです。ただ、参加すれば良いのではなく、一緒に関わりながらそのイベントを盛り上げていく当事者になってほしいという意見が部会の中でも挙がったところです。この点、連絡や連携の強化はもちろん、サポーターの方が主体性を持って、これからのイベントに関わってもらえるように、支援していきたいと考えています。

三点目として、今年は大大会本番に向けてさまざまな活動に参加していくと思いますが、大会後に区内で行われる区主催の大きなイベント、あるいはそれぞれの地域におけるさまざまなイベント、そういったところにどんどん参加していただけるような継続性をもう少し考えていきたいと思っています。

大会後のレガシーとして、一人一人のサポーターに、さらに新宿を盛り上げていく存在になってもらいたいというのが願いですので、今年はそういった点に向けて、さまざまなアクションを起こしていければと考えています。

【村岡座長】

ありがとうございました。

【委員】

二点ほどイベントの紹介をさせていただきます。

一点目は、新宿区障害者福祉協会の主催で、「2020年みんなで盛り上がり！新宿パラスポーツ体験イベント」を3月1日に、新宿コズミックセンターにて開催予定です。

パラスポーツに特化したイベントというのは非常に珍しいと思いますが、障害の理解を通じて、共生社会をつくり上げていきたいという思いがあり、よりパラリンピアンのおすごさを感じていただけるようなプログラムになるように、イベントを企画しています。

当日は、オリンピック、パラリンピアンの方も参加していただくプログラムとなっています。これは、新宿区の東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成を活用して行う事業ですが、東京2020応援プログラムの認証なども取得し、パートナー企業にも協力をさせていただきながら、事業を盛り上げていくという取組みになっています。

今後は、チラシができましたら、区内の小・中学校、保育園、幼稚園などを通じて、実際に来ていただく方々に参加の周知を図るとのことのほか、特に中学生のボランティアを増やしたいため、近隣の中学校にも直接依頼に伺う予定です。

二点目として、3月21日に戸山サンライズにて、新宿区手をつなぐ親の会が主催するイベントについてです。身体障害等の誰も見えてわかるような障害に対して、知的障害や発達障害等の見えにくい障害の理解を促進する内容となっています。

第一部では、又村あおいさんという方に講演を行っていただき、第二部は、新宿区手をつなぐ親の会が立ち上げている、知的障害の疑似体験キャラバン隊とお笑い芸人が一緒になって、日常的によくあることを会場の皆様と体験していくようなプログラムになっています。

こちらも区の助成事業となっています。ぜひお時間のある方は、見に来ていただければと思います。

【村岡座長】

ありがとうございました。

それでは、次第の4、区からの情報提供です。

いよいよ2020年を迎え、大会に関する新しい情報が次々と出てきております。大会に関する情報共有は、この協議会の設置目的の一つでもあります。また、各団体の今後の取組みにも関わってくると思いますので、議題の一つとして、現時点における大会に関する情報をこの場で共有したいと思います。

それでは、事務局の方から説明をお願いいたします。

【浅野東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長】

では、説明させていただきます。

東京2020オリンピック聖火リレーに関して、東京都内区市町村のルート及び東京都のオリンピック聖火ランナー当選者の公表について、説明します。こちらは、昨年の12月に東京都聖火リレー実行委員会から公表されています。

東京都のオリンピック聖火リレーの実施日は、今年令和2年7月10日から7月24日までの15日

間となっています。日本全体のオリンピック聖火リレーは、3月26日に福島をスタートいたします。

なお、その前の3月12日にギリシャで聖火が採火され、3月20日に日本に到着し、3月26日に聖火リレーがスタートするという日程になっています。47都道府県全てを順に回っていき、7月10日にいよいよ東京にやってくるということになります。

都内は、62市区町村を15日間で回るとなっていますが、新宿区には最終日の7月24日に回ってきます。7月24日がオリンピックの開会式の日ですが、この日の午前中に新宿に来て、同日は新宿区のみを走る予定です。

ルートについて、スタートとなるのは都庁北側ビル前広場です。一般的には住友三角ビルと呼ばれるビルですが、こちらのビルのアトリウム広場からスタートとなります。ここから甲州街道に出て、東に進みます。新宿駅の南口を通過して、新宿通りに入り、四谷特別出張所先の四谷四丁目の交差点まで行きます。そこから北に進み、富久町の交差点で一度休憩となります。その後、新宿一丁目辺りから再度スタートし、靖国通りを西へ進みます。大ガードをくぐって西新宿を新宿中央公園まで進み、新宿中央公園を1周半ほどして、ワシントンホテル側から都庁前へ進むというルートです。最後に、都庁がオリンピック聖火リレー全体のゴールとなります。

また、東京都のオリンピック聖火リレーのランナーについても、12月に公表されています。今回公表されたのが、東京都の実行委員会が選定した部分であり、聖火リレー全体ではありませんので、その点は注意していただければと思います。オリンピックの聖火リレーについては、各都道府県の実行委員会が選ぶ枠、IOCや大会組織委員会が選ぶ枠、それからプレゼンティングパートナー4社が選ぶ枠というのがそれぞれありますが、今回公表されたのはこのうち東京都の実行委員会を選んだランナーとなります。

新宿区を走るランナーについては、7月24日として6名掲載されていて、三井特別アドバイザーもその中に入っています。

続いて、東京2020パラリンピック聖火リレーのランナー募集についてです。

募集は、東京都の聖火リレー実行委員会が行っており、募集人数は、東京都全体で75名です。募集期間が昨年12月16日から2月15日までということで、現在募集中となっています。

東京都を走行するのが8月21日から8月25日までの5日間、このうち新宿区がそのスタートとなり、8月21日の最初の区間が新宿区です。具体的なルートについては、まだ決まっていないため、また公表され次第、情報共有させていただきます。

なお、パラリンピック聖火リレーの全体のスケジュールとしては、8月13日からスタートとなります。8月13日から17日の間で、開催都県以外の43道府県で聖火のフェスティバルを実施し、それぞれの道府県で聖火の採火をするという形です。その後、競技の開催県となる静岡県、千葉県、埼玉県で、それぞれ18日、19日、20日に聖火リレーを行い、21日には東京都で採火をして、都内の聖火リレーを実施します。この8月21日の夜に、イギリスのストーク・マンデビルで採火された火と47都道府県で採火された火、合わせて48の火を集める集火式というものが

行われます。その全部を集めた火を使つての聖火リレーというのが、8月22日から8月25日まで行われるという形になります。

続いて、東京2020大会における交通対策についてです。令和元年の12月に東京都と組織委員会が輸送運営計画ver.2を出しています。この中で、競技会場周辺の交通規制の情報等について、具体的な情報が少しずつ出始めていますので、今回情報共有させていただければと思います。

国立競技場（オリンピックスタジアム）周辺の交通規制について、説明いたします。

オリンピックスタジアムと東京体育館が一体となり、セキュリティエリアと言われるフェンスで囲った、関係者やチケットを持った人しか入れないエリアが設けられます。

大会組織委員会が最寄り駅として設定をした駅が、周辺にある信濃町駅、千駄ヶ谷駅、北参道駅、外苑前駅、青山一丁目駅という5つの駅となります。それから国立競技場駅につきましては、エレベーターがこのエリア内になるということで、特別なオペレーションを行うと聞いていますが、まだ具体的にどうなるかはわかっていないという状況です。この最寄り駅として設定されている駅については、東京都の都市ボランティアがこの沿道を案内するというイメージです。

また、この計画の中で、基本的に出入りができないエリアというのが設定されていますが、この中に外苑西通りが含まれていて、大会期間中は通り抜けができないということになります。それから、大会関係車両や沿道周辺に居住されている方以外は通れない通行禁止エリアや、迂回の協力を依頼するエリアといったものが、設定される予定となっています。

詳細につきましては、また情報が出次第、周知をさせていただきたいと考えています。

それから、「新宿御苑における東京2020NIPPONフェスティバル主催事業の開催について」です。

東京2020NIPPONフェスティバルは、大会組織委員会が主催するイベントですが、本年7月18日及び19日というオリンピックの開催直前の時期に、新宿御苑にてイベントが実施される予定となっております。

文化をテーマにしたイベントということですが、詳細は未定となっておりますので、こちらでもまたわかり次第情報共有させていただければと思います。

最後に、前回の協議会で基本ガイドラインをお示しましたが、東京2020大会のパブリックビューイングの詳細のガイドラインが1月に公表される予定です。東京2020大会のパブリックビューイングは、町会や商店会のほか、非営利団体が実施できるということになっています。こちらについても公表され次第、また情報共有させていただければと思います。

説明は以上です。

【村岡座長】

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして令和元年度第3回新宿区東京2020大会区民協議会を閉会させていただきます。

次回、令和2年度第1回の協議会については、5月に開催する予定です。開催日時については後日、事務局からお知らせしますので、引き続きよろしくお願いたします。

それでは、閉会とします。ありがとうございました。

<閉会>